

マグノリア グループホーム 令和4年度 第1回運営推進会議 報告書

開催日	令和4年5月13日（金）			
開催場所	グループホームマグノリア			
出席者	構成区分	人数	構成区分	人数
	利用者の家族	1名	地域包括支援センター	1名
	地域住民の代表	0名	行政（市長寿社会課）	1名
事業所出席者	施設長		グループホーム職員	2名
	グループホーム管理者			
欠席者	地域住民の代表 2名			

・ 開会

今年度施設方針、グループホーム目標について説明する。

・ 利用状況報告について

5/1現在

入居者の状況	入居人数（17名） 男性（3名） 女性（14名）
	要介護1（3名） 要介護2（6名） 要介護3（3名）
	要介護4（4名） 要介護5（1名） 平均介護度（2.6）
	年齢（平均 89.8歳）（最高齢 101歳、最若齢 77歳）

れもんの家～要介護1（2名） 要介護2（2名） 要介護3（2名） 要介護4（2名） 要介護5（0名）  
 すみれの家～要介護1（1名） 要介護2（4名） 要介護3（1名） 要介護4（2名） 要介護5（1名）

・ 3、4月の状況報告

Y様（男性）：3/16入居

I様（女性）：11/9～3/15 短期入所利用

S様（男性）：4/14死去にて退居

・ 事業所活動報告について

（1）3、4月活動状況

- ・ 別紙にて報告

（2）職員研修会等

4月 コンプライアンス研修、苦情解決研修

<毎月定例としてあるもの>

- ・ 1日：運営会議
- ・ 第4火曜：感染委員会
- ・ 第2月曜：リスク委員会
- ・ 第2曜：高齢者虐待防止、身体拘束適正化委員会
- ・ 第2金曜：サービス向上委員会
- ・ 第3木曜：防災環境委員会
- ・ 中旬：各ユニット会議
- ・ 月末：グループホーム係会議

・ ヒヤリハット報告について

(1) ヒヤリハット (3月：8件、4月：10件)

※ヒヤリハットは事故が起こる前に気付いたこと、起こっても利用者には変化がなかった場合のこと

	転倒	表皮剥離	異食	喉詰め	離所	誤薬	情報共有	その他	医療健康	利用者トラブル
	転落			誤嚥			ミス			
3月	6	0	1	0	1	0	0	0	0	0
4月	7	1	0	1	0	0	0	1	1	0

(2) 事故 (3月：5件、4月：3件)

※事故とは起きてしまい利用者の観察が必要または治療が必要になったこと

	転倒	表皮剥離	異食	喉詰め	離所	誤薬	情報共有	その他	医療健康	利用者トラブル
	転落			誤嚥			ミス			
3月	2	0	0	0	0	2	0	1	0	0
4月	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0

ヒヤリハットと事故について、その他、意見交換

- ・「詳しく報告ありがとうございます。以前、保育園に勤めていて思う事があるのですが、安全第一に見ていただく事はすごく大変だと思います。事故はどうしても起きてしまう事であり大変だと思いますが、よろしく願います。」施設理念の「地域の総合相談窓口機能を強化」について、もう少し詳しく教えて下さい。
- 施設長、包括居宅職員にて、土曜日にも相談員を配置し相談しやすい環境作りに取り組んでいる事を説明する。
- ・高齢になってからでは遅いので、今からどのように生活を送ってくれば、老後の生活を元気に過ごせていけるのでしょうか。生活方法の情報や便秘解消法等をマグノリアが発信してもらえればと思います。
- 広報誌にてワンポイントアドバイスの掲載や、包括支援の方からも取り組ませて頂きます。ぼっかぼかの会やマグカフェ等の活用も考えていこうと思っています。
- ・「マグノリアの事業所の在り方や職員の対応姿勢は、私にとっては凄くありがたく思います。」と、お褒めの言葉をいただく
- ・家族様からの要望やご意見等があれば、どう対応されていますか？
- 相談の場を設け、できる限り説明し納得して頂くように説明している事を伝える。
- ・定期的な法人内の異動は大変良い事だと思います。
- マグノリア全体で対応できる体制を構築していく事を伝える。
- ・介護度5の方が居られるが、グループホームに入居できるか聞かれる。
- 入居時は5ではなかった事を伝え、法的には、要支援2、介護度1～5方は入居できる事を伝える。
- ・職員人数や体制について聞かれ、ヒヤリハットについても今回、職員の方の対応ミスも見られるので気を付けてもらえればと思います。
- 家族との関わり方についても聞かれる。
- 新体制での連携、把握ができていない事が多く出てしまった事を伝え、家族との関わりについても例年なら家族会を開催しているが、感染症蔓延後は1年間の様子をアルバムとして作成しお送りしている。今年度も目標に上げお便りやアルバムを作成し家族様に理解してもらえよう伝えていく。
- ・地域包括支援センターより、「毎年、小学生との交流を実施していたのですが感染症が出てからは対面での交流が出来なくなってきています、写真や動画を撮るなどして交流ができればと思うので昨年と同様、協力をお願いします。」
- 「昨年度の外部評価より地域との繋がりについての項目が多く感じましたので地域包括としても一緒に取り組んでいければと思います。」

次回開催予定：令和4年7月20日(水) 14:30～